

千葉市 手をつなぐ育成会だより

第 161 号
令和元年(2019)11月14日
千葉市手をつなぐ育成会
会 長 成 田 智 子
千葉市稲毛区作草部2-4-5
TEL・FAX 043-206-4050
✉ chiba-chibahands@dance.ocn.ne.jp



「でい・さくさべ建設前の石拾い」
育成会の先輩お母さんたちの想いと行動

平成10年のこの日に、社会福祉法人の認可を受けたことにちなみ、七月七日に地域生活支援センターふるで20周年記念パーティーを開催しました。



七月七日
dreams
come
true
(社)千葉市手をつなぐ育成会
設立20周年

「でい・さくさべ建設前の石拾い」
育成会の先輩お母さんたちの想いと行動

「でい・さくさべ建設前の石拾い」
育成会の先輩お母さんたちの想いと行動

「でい・さくさべ建設前の石拾い」
育成会の先輩お母さんたちの想いと行動

今回、内々で
一〇周年の時は、利用者さん、ご家族、職員での行事でした。二〇年の節目は、法人設立の活動から今日に至るまで、当法人を支えてくださった親の会、近隣、行政の皆様をお招きし、謝意をお伝えすることを主としました。

「親の会と法人は『車の両輪』と言われるが、これからの車の両輪がどうあるべきか考えて。」
企画サイドとしては、法人千葉市育成会らしく華美でない？雰囲気を用意したため、おもてなしとしては至らなかつた面があつたと思いますが、お話しただいた全ての皆様に温かいエールを頂きました。唯一の失敗は雨が降ったことですが、でい・さくさべの竣工式も雨でした。



航空科学博物館➡
からは成田空港を見ることができます。



航空科学博物館➡
からは成田空港を見ることができます。

台風15号及び19号、大雨による被害にあわれた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

息子の年金申請の手続きをしています。今までの発育状況を記入する申立書を前に忘れていた乳幼児期の事など思い出しました。決して若いお母さんではなかつたのですがハイパー多動児だった息子を追いかけざるを得ない毎日。体力がありました(笑)今は日々体力の衰えを感じるので何かしなければと思っています。

第54回手をつなぐ育成会関東甲信越大会・千葉市大会実行委員会では、8月31日(土)に思い出観光旅行に行つてきました。これは2020年10月24日(土)に実施予定の本人会のシミュレーションとして行われたもので、本人13名・付添い者16名・合計29名が参加しました。

本人会日程	
東京ベイ幕張ホール出発	↓ 貸切バス
千葉みなと駅	↓ 千葉モノレール貸切
千城台駅	↓ 貸切バス
成田にて昼食	↓ 貸切バス
航空科学博物館	↓ 貸切バス
東京ベイ幕張ホール到着	

育成会のうごき 7月～10月	
7月4日	千葉県育成会大会
5日	「知的障害児の性について」研修会(講師 堀江まゆみ氏)(本誌p.3)
6日	108地区民生児童委員研修会
7日	法人20周年記念パーティー
23日	千葉市要望書提出 千葉市障害者団体等ヒアリング 千葉市社会参加推進協議会
29日	第1回千葉市バリアフリー基本構想推進協議会
8月20日	各区おしゃべり会
9月10・17・24・27日	「心の輪を広げる体験作文・障害者週間ポスター」審査委員会
18日	「みんなの笑顔が集まるくはらから」研修会(講師 嵯屋 久美子氏)(本誌p.2)
20日	第19回全国障害者スポーツ大会千葉市代表選手団結式
24日	25・26・27・10/2日
25・26・27・10/2日	千葉市バリアフリー基本構想推進協議会(6区地域懇談会)
10月3日	関東甲信越ブロック各都県・政令指定都市代表者会議
5日	ワークホームまつり
8日	親睦会「ホテルビュッフェ」文化部主催
16日	千葉市特別支援教育振興大会実行委員会
18日	特別市政功労者表彰式
19日	ハロー・でいさく!!
23日	福祉大会実行委員会
25日	施設見学会「オリーブ轟」
30日	千葉市拠点の福祉避難所運営訓練

困った！の前に知っておこう・教えておこう 障害児・者の性について

7月5日、でい・さくさべにて、白梅学園大学教授の堀江まゆみ氏をお招きし「障害児・者の性について考える」幼児期・学齢期からできること」と題してこども委員会主催の研修会を開きました。

最初に、「津久井やまゆり園」の事件後、堀江先生は利用者に対し、神奈川県職員、相談支援員と共に、一人ひとりの意思決定支援にあたったことまた、利用者が安心して生活出来る場の確保のため、施設の小規模化、分散化、地域支援の拠点が大切だとお話がありました。現在、「津久井やまゆり園」を出られ、新たな生活をスタートされている方のお話や利用者の親たちが抱えていた悩みなどにも寄り添われていることに感慨深いものがありました。障害児・者の性についてのお話では、犯罪となってしまう障害者の行動事例や犯罪を誘発しないために我が子に教えることを学びました。

【問題行動を回避させるには】困った行動をした場合、やってはいけないと話しても解決にはなりません。性教育をしても難しいです。何が原因で(A)、何が起こったか(B)、その結果どうなったのか(C)、を分析し、起こったこと(B)を起こさせない意識を持たせることが解決となります。これは

認知行動療法の一つであるABC分析であり、性の問題のみならず、あらゆる問題行動を回避させる有効な手立てにつながると思います。

「こっちのほうが楽しいことがあるからこっちを選ぼうよ」「悲しいことがあるからこっちを選ぼうよ」といったように、判断基準を作ってあげて、本人の認知を上げることも問題行動回避の手立てとなります。

また絵を使いながら、プライベートとパブリックを分けることを教えることはとても大切なことです。それによつて「恥ずかしい」「嫌だ」「逃げる」ことを教えていきます。身近な存在からの被害が多いこと、さらには重篤な加害も少なくないことも現実です。性について教えることは人との付き合い方を教えることでもあります。

また、トラブルに備えて、日ごろからの母親同士のネットワークづくり、



堀江 まゆみ氏

要望書を提出しました

令和2年度予算編成および障害福祉計画に関する要望書を7月23日、千葉市に提出し回答をいただきました。

1. 地域生活支援拠点について

今年度、緑区以外で地域生活支援拠点を1か所増設するにあたっては、平成29年度に先行した中野学園の検証事業の経験を生かし早く軌道に乗るようお願いします。

【回答】今年度から対象区域を緑区と若葉区に拡大し、他の区域を対象として1か所増設する方向で調整を行なっているところです。当事業は委託相談事業者や計画相談事業所、グループホーム等の障害福祉サービス事業所との連携により機能するものとなりますが、限られた社会資源を有効活用できるようなネットワーク作りやマンパワー不足が大きな課題となっており、今後も千葉市地域自立支援協議会等において十分な検討を行い、障害者とその家族が安心して暮らしていけるような体制整備に努めたいと考えております。

2. 日中一時支援事業の拡充

子どもに障害があっても安心して働くために、報酬単価の増額など日中一時支援事業の拡充をお願いします。

【回答】日中一時支援事業の単価については、国の障害報酬改定に合わせて見直しを行なっており、今後も同様に

実施していきたいと考えております。

3. 送迎について

特に老障介護親子にとって送迎が大変難しくなっています。施設に対して送迎の運営補助金支給と送迎加算増額をお願いします。

【回答】日中活動系の事業における送迎加算について、国の報酬により実施されるべきものと考えており、送迎を必要とする方に対して継続的な送迎を可能とするため十分な報酬とするよう国に要望してまいります。

4. 強度行動障害者を受け入れた場合

一定の条件を満たした生活介護事業所およびグループホームに市単独加算が拡充され1年余り経過しました。事業所が有効に活用できるよう働きかけをお願いします。

【回答】拡充初年度のため市制度について事業者の理解が十分でなかったと思われため、再度メール等により事業者に対し直接制度案内を行うなど利

警察との対処の仕方を知っておくことも大切です。

【感想】●幼児期からの子育てのヒントが聞けた。●問題行動について、結果ばかりにとらわれず、きっかけとなる

温かな思いで：はらから



樋屋 久美子氏

9月20日、でい・さくさべにて、NPO法人はらから代表理事の樋屋久美子氏をお迎えして、研修会が行われました。

「はらから」は生活介護、短期入所、日中一時支援、相談支援、グループホームのサービスを提供していますが、今回の研修会では、「はらから」設立の思いや、グループホーム(男性10名、女性10名)についてのお話を中心にいただきました。

【設立のきっかけ】以前働いていた児童施設や、障害者施設での経験から、子供達を大事にしなくてはいけないと思いました。利用者さんを親の葬式にも連れて行くことが出来ないという経験や、入所施設には限界があると感じたことで、入所施設から移行の人のため

用を促進してまいります。

要望をそのまま叶えるのは難しいとなれば、ではどんな方法があるのか：皆で考え、行政からも助言をいただけたらと思います。本人と家族の立場で会員の皆様の思いは諦めず、これからも届けてまいります。(会長 成田)

地域で生きる 育成会啓発活動

7月6日、千葉市社会福祉協議会、西千葉地区部会障がい者福祉委員会より講演の要請：「知的障害についての紹介」と意見交換「地域での支援」：：があり、汐見ヶ丘にある三和会館に成田会長、長谷川副会長、佐久間父子が出席しました。

先ず成田会長より挨拶、次に長谷川副会長から当会の活動内容等の紹介後、知的障害とその特性についてのお話をしました。その後、それぞれの我が子の具体的事例を説明しました。

島田貴美代顧問は、10年間、千葉市手をつなぐ育成会の会長をされ、美浜区の知的障害者相談員、千葉市自立支援会議他のメンバーとして活動されながら、知的障害者の親として、当事者と行政を結ぶパイプ役として意見を届けられました。これからも千葉市の知的障害者福祉にお力添えいただけますようお願いいたします。(副会長 大里)

行動を探っていききたい。などの感想をいただきました。今後も子供たちの成長や日々の生活が、より充実したものになるよう「こども委員会」では活動を行っていきます。(広報部 藤方)

の施設を作りたいと思いました。現在入所施設から移られた方は9人です。【はらからの支援】●生活リズムを整え、それぞれの居場所を作り、日課のパターンを変えないこと。その中で楽しみを持ってもらう。●いろいろな年代のスタッフがいることでそれぞれの気づきがある●支援とはご本人のそばに居ること●徹底的な衛生管理、トイレの二オイがしない事が自慢です。

【安心とは】ご本人にとって一番いいのは、親の居る自分の家です。大事なことは親のこうして欲しいということを実施に伝えることです。短期入所も在宅を続けるための制度です。一回利用しておけば緊急時に受け入れることが出来ます。

【きょうだい関係】賢いきょうだいほど感情を表には出しません。家族を大事にしてください。

【感想】先日の台風での停電では「食べる」と「衛生管理を上げる」を徹底し、この機会にしかできない学びがありましたとお話がありました。そんなお話からも、温かでパワフルな樋屋さんの“思い”を感じました。(広報部 竹村)

後半の意見交換では、「私達はどう支援をしたら良いのか」という質問や「お父さんやお母さんの、我が子への愛情の深さが良くわかった」「知る事の大切さが理解できました」等のご発言をいただきました。

会場の皆さまが、真剣に耳を傾けて下さったことで、改めて啓発活動の大切さを考えました。(副会長 佐久間)

パラスポーツへの挑戦

7月31日より、ハーマニープラザにおいて、千葉市パラスポーツ窓口が開設されました。

対象は障害のある方(知的、身体)で、年齢に関係なく、スポーツ(パラリンピックの競技以外)に参加したいという方に、情報提供はもちろん、どんなスポーツをしたいのか、どんなスポーツが合っているのかなどの、スタートの段階から、活動の場とのマッチングや、その後のフォローアップも紹介します。担当の方からは「スポーツが障害のある方の日々の生活の中にあって欲しい、スポーツが人生の変化のきっかけの一つになるかもしれない」とのお話がありました。

スポーツをやってみたいというご本人はもちろん、経験させてみたいと思うご家族も、是非、ご相談下さい。

TEL 043・312・0605
(副会長 大里)